

編集後記

本年4月から医師働き方改革が正式にスタートしたが、「労働」と「自己研鑽」の区別など、曖昧な部分もあり、いまだその対応に苦慮されている医療機関も少なくないと思われる。かつては夜間に緊急内視鏡を行う際には何処からともなく若い内視鏡医が集まり、直接治療には関わらずとも、その手技を見学して各個人の内視鏡技術のスキルアップに繋げていた。しかし、今は原則として、「業務上必須ではない見学を、上司の明示・黙示による指示なく、自由意思に基づき自ら申し出て行う時間については、在院して行う場合であっても労働時間に該当しない」とされる。もちろん、その手技に関わる医療行為を行えば労働だが、労働時間の上限が明確に規定されていることも相まって、若い医師達が緊急内視鏡処置を学ぶ機会は減っているのが実情であろう。

消化管静脈瘤破裂による出血は生命に関わる大きなイベントであり、迅速かつ確な治療が求められる。また、出血させない予防的静脈瘤治療も重要であり、これまで種々の研究によって解明されてきた「risky varices」の病態を理解し、血行動態に応じた的確な治療戦略を組み立てる必要がある。しかしながら、ウイルス性肝炎の治療の進歩も相まって（良きことではあるが）、以前に比して実臨床の現場で静脈瘤治療に関わる機会が少なくなってきたこと、また、静脈瘤に対する内視鏡治療のハンズオントレーニングが実施されていない実情において、その教育が大きな問題とされている。

本号は、「消化管静脈瘤診療 update」の名の通り、本邦における現在の消化管静脈瘤診療に関わる全てが網羅されており、厚い教科書に匹敵するほどの内容が、この1冊に凝縮されている。内視鏡診療を主体として構成されているが、静脈瘤治療においては、薬物療法、IVR、外科手術も含めた集学的治療が必要な場合も少なからずあるため、「内視鏡医が知っておきたい門脈圧亢進症診療」の項も設けており、多くの内視鏡医にとって参考になるであろう。また、いくつかの動画も収録されており、消化管静脈瘤診療の教育ツールとしても必要かつ十分な内容と考える。是非、座右の書として頂ければ幸いである。なお、消化管静脈瘤診療を行うにあたり、門脈血行動態と門脈圧亢進症の病理を理解することは、安全かつ効果的な治療遂行に大変重要である。本号の総論2編については、何度も読み返して理解を深めて頂きたい。

今回、Plannerの意をしっかりと汲んで頂き、素晴らしい内容をご執筆頂いた全ての先生方に厚く感謝を申し上げるとともに、本特集号が全ての消化管静脈瘤患者、そして全ての消化器内視鏡医にとって有益になることを祈念し、編集後記を終える。

（獨協医科大学医学部内科学（消化器）講座
入澤篤志）

「消化器内視鏡」編集委員会

ENDOSCOPIA DIGESTIVA Editorial Board

主 幹

貝 瀬 満 赤 松 泰 次 有馬美和子 檜 田 博 史
岩 男 泰

委 員

阿 部 展 次 石 田 和 之 糸 井 隆 夫 今 枝 博 之
河 合 隆 河 内 洋 栗 林 志 行 後 藤 田 卓 志
小 林 清 典 斎 藤 豊 佐 藤 公 下 田 将 之
根 本 哲 生 藤 島 史 喜 布 袋 屋 修 松 田 浩 二
三 澤 将 史 安 田 一 朗 矢 作 直 久 山 本 博 徳
良 沢 昭 銘

名誉主幹

酒 井 義 浩 田 中 三 千 雄 幕 内 博 康 熊 井 浩 一 郎
榊 信 廣* 星 原 芳 雄* 杉 山 政 則*

名誉委員

荒 川 哲 男 池 上 雅 博 池 田 昌 弘 乾 和 郎
大 倉 康 男 大 竹 寛 雄 沖 田 極 小 原 勝 敏*
勝 又 伴 栄 加 藤 洋 桑 原 紀 之 桑 山 肇
佐 竹 儀 治 嶋 尾 仁 竹 下 公 矢 田 中 雅 夫
長 野 正 裕 長 谷 部 修 原 澤 茂 原 田 一 道
平 田 信 人 藤 井 隆 広 藤 田 直 孝* 藤 盛 孝 博
安 田 健 治 朗* 矢 野 右 人

*：シニアアドバイザー

消化器内視鏡

第36巻 第12号(通巻第436号)

2024年12月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 3,520 円(本体 3,200 円 + 税 10%)

2025年(1～12月号、増刊号)年間予約購読料

定価 54,120 円*(本体 49,200 円* + 税)

(*送料は弊社負担です。ただし、前金予約購読者に限ります)

※消費税率変更の場合、上記定価は税率の差額分変更になります。

編集———消化器内視鏡編集委員会
発行———株式会社 東京医科学社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-40-5

編集部 TEL 03-3237-9113 FAX 03-3237-9115

販売部 TEL 03-3265-3551 FAX 03-3265-2750

E-mail : naishikyo@tokyo-igakusha.co.jp

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社東京医科学社が保有します。

・[JCOPY] <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、一般出版社団法人著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

Published by TOKYO IGAKUSHA Ltd. Printed in Japan ©2024

広告申込所: 株文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 TEL03-3814-8541